

平成28年度（4月入学）

学生募集要項

大学院総合理工学研究科
【農学専攻】（修士課程）

〔伊那キャンパス〕

社会人特別選抜



信州大学
SHINSHU UNIVERSITY

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

【信州大学大学院】

1 求める学生像

信州の悠久の歴史と文化、豊かな自然環境のもと、地域に根ざし世界に開かれた信州大学大学院は、総合大学の特色を生かし、国の活力を高める次世代を担う卓越した人材や世界的な視点で新たな価値を創造する質の高いグローバルな高度専門職業人の養成を目指しています。そのため、以下のような能力や意欲を備えた人たちを積極的に受け入れます。

- ・幅広い教養と専攻する分野の専門知識を持ち、さらに高度な専門的知識・専門応用能力を修得したい人
- ・知的好奇心が旺盛で、専門的課題や地域社会の抱える課題に主体的に取り組む人
- ・深い知性、論理的な思考力、豊かな人間性を備え、様々な分野でリーダーシップを発揮し、活躍したい人
- ・社会・環境・国際問題に関心をもち、創造力を活かし、グローバルに活躍したい人
- ・職業経験から獲得した知識・技能を高度化、深化させたい人

2 入学者選抜の基本方針

信州大学の教育の理念・目標に則り、各研究科の特性に応じた公正かつ適切な方法で入試を実施し、大学院教育を受けるにふさわしい能力・適性等を多面的・総合的に評価します。

【総合理工学研究科】

総合理工学研究科では、総合理工学研究科の基本理念・教育目標に基づき、次のような能力や意欲を備えた人を積極的に受け入れます。

1. 大学等において能動的に学び、十分な基礎学力と緻密な思考力を身に付けている人
2. 科学・技術の基礎的あるいは応用的研究に高い意欲をもって取り組む人
3. 世界をリードする先進的科学・技術を担う研究者、あるいは複雑・高度な諸課題に専門性を持って貢献できる高度専門職業人を目指す人

【農学専攻】

農学専攻では、総合理工学研究科及び農学専攻の基本理念・教育目標に基づき、次のような意欲を持った学生を求めています。

1. 自然と人が共生する持続的発展可能な社会の創造に貢献できる高度専門職業人を志す人
2. 農学分野の幅広い基礎学力を有する人
3. 生命現象、食と健康、食料生産、持続的農林業、森林と田園環境の保全等に関わる今日的課題の解決のために、先端生命科学、食品生命科学、生物資源科学及び環境共生学の各専門分野での研究に高い意欲をもって取り組む人

科学技術の急速な進展と社会情勢の変化に伴い、社会人のキャリアアップに必要な高度かつ専門的な知識・技術・技能を身に付けるための教育プログラムに対する要望が、近年、急速な高まりを見せています。本研究科では、このような要望に応えるため、新しい学識の習得と課題解決能力の向上を図ることを目的として、各種の研究機関、教育機関、企業等において活躍中の社会人を在職のまま受け入れる道を開いています。選考にあたっては、実務経験に基づく専門知識等を重視し、一般の選抜方法とは異なる特別選抜を実施します。

農学専攻の社会人特別選抜は、本専攻の4つの分野のいずれかに入学して一般学生と同じカリキュラムを履修する方を対象とした社会人特別選抜と、1年間の就学で修士（農学）の学位が取得できる「地域共生マネジメントプログラム」選抜の2つに分けて行います。いずれのプログラムも大学院設置基準に定める教育方法の特例により、入学者の希望に応じて夜間・休日にも授業又は研究指導を受けられるよう配慮します。

社会人プログラムは、一般学生と同じ修業年限2年以上で、所定の科目を修得し、かつ、修士論文の審査に合格した方に修士（農学）の学位を授与します。なお、申請に基づき修学の便宜と授業料の軽減を図る長期履修制度を活用して、計画的な長期在学と履修により、最長4年間の修業年限で計画的に課程を修了することができます。

「地域共生マネジメントプログラム」は、実務経験を有する社会人の方を対象に設置する修業年限1年以上、最長2年間のプログラムで、最短1年で修了することが可能です。所定の科目を修得し、かつ、特定課題研究成果報告書の審査に合格した方に修士（農学）の学位を授与します。

○ 地域共生マネジメントプログラムについて

社会人のための新たな教育プログラムとして、地域開発・保全、植物生産、動物生産、森林科学、環境保全、農業工学、生命科学、農芸化学、など広く農学に係わる分野の専門技術者を育成する農学版MOT（マネジメント・オブ・テクノロジー）「地域共生マネジメントプログラム」を編成しました。本プログラムは、企業、地方自治体、公益法人、NPOに所属する職員等、地域のマネジメント及びイノベーションを担う社会人の方を対象にしています。長野県を始めとする地域が抱える地域資源活用や鳥獣害対策、環境保全等を目指すリーダーの育成、マネジメント能力を持った実務専門家の養成を目標として掲げています。

本プログラムに入学した学生は、この募集要項に添付するプログラムに沿って履修することで、1年で修士課程修了に必要な単位を修得できます。さらに、入学時から指導教員による特定課題研究の作成指導を受け、審査に合格すれば、1年で修士課程を修了し、修士（農学）の学位を取得することができます。

【添付書類等】

- 「入学志願票」・「受験票」
- 「履歴書」
- 「業務業績報告書」
- 「就学推薦書」
- 「研究志望概要」
- 「A票：入学検定料納付確認書」・「B票：入学検定料領収書」・「C票：振込依頼書」
- 「入学資格審査出願調書」

1. 募集人員等

専攻名	分野等名	募集人員	標準修業年限
農学専攻	先端生命科学分野	若干人	2年
	食品生命科学分野	若干人	
	生物資源科学分野	若干人	
	環境共生学分野	若干人	
	地域共生マネジメントプログラム ※	若干人	1年

2. 出願資格

出願時に各種の教育・研究機関、行政機関及び企業等に正規職員として勤務している方で、入学後もその身分を有し、次の各号のいずれかに該当する方とします。

- (1) 大学（修業年限4年以上）を卒業した方又は平成28年3月までに卒業見込みの方
- (2) 学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された方又は平成28年3月までに授与される見込みの方
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した方又は平成28年3月までに修了見込みの方
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した方又は平成28年3月までに修了見込みの方
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した方又は平成28年3月までに修了見込みの方
- (6) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した方又は平成28年3月までに修了見込みの方
- (7) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号）
- (8) 学校教育法第102条第2項の規定により大学院に入学した方であって、本研究科において教育を受けるにふさわしい学力があると認められた方
- (9) 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた方で、平成28年3月31日までに22歳に達する方

※（7）により出願する方は、事前に入試事務室へ提出書類について確認をしてください。

※（9）の審査を要する方は、「短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業生、その他の教育施設の修了者等で、平成28年3月31日までに22歳に達する方」です。

※ 地域共生マネジメントプログラムの出願要件

上記の出願資格を有する方のうち、次のいずれかに該当する方で、昼夜間受講が可能な方とします。

- (ア) 大学（修業年限4年以上）卒業後、2年以上（入学時に見込まれる方を含む）の農学（地域開発・保全、植物生産、動物生産、森林科学、環境保全、農業工学、生命科学、農芸化学等）に関わる技術や管理の実務経験を有し、官公庁、地域連携に積極的な企業・団体から推薦された方
- (イ) 高等学校を卒業後6年以上、もしくは短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校等を卒業後4年以上（入学時に見込まれる方を含む）の農学に関わる技術や管理の実務経験を有し、官公庁、地域連携に積極的な企業・団体から推薦された方

3. 入学資格審査

「2. 出願資格」の(7)～(9)及び(イ)により出願する方は、あらかじめ次に定める個別の入学資格審査が必要となります。

(1) 入学資格審査申請時に提出する書類

	提出書類等	摘要
1	入学資格審査出願調書	この募集要項に添付する用紙に所要事項を記入してください。 なお、現在までの学習歴、活動歴、実務経験歴等について具体的に自由形式で記述したものを提出してください。関連する著書、学術論文、学術講演、特許、報告書、証明書等がある場合は証明できる書類の写しを添付してください。
2	成績証明書及び卒業(又は修了)証明書	最終学歴が短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業又はその他の教育施設の修了である場合は、当該卒業又は修了した短期大学長、学校長又は教育施設長が作成した原本を提出してください。また、大学学部在学していた経歴のある方は、当該大学在学時の成績証明書(学長又は学部長が作成した原本)を併せて提出してください。いずれも最終学校の学校長が作成し、厳封したものを提出してください。
3	返信用封筒	市販の封筒〔長形3号(12 cm×23.5 cm)〕に郵便番号、住所(受信場所)、氏名を明記し、82円分の切手を貼ってください。

(2) 入学資格審査申請の受付期間等

平成27年10月5日(月)から10月9日(金)まで

- ① 持参による受付は、8時30分から17時までとします。
- ② 郵送による場合は「書留速達郵便」により送付してください。角形2号封筒(24 cm×33.2 cm)を用いて、封筒の表に「大学院入学資格審査申請書類在中」と朱書きしてください。
郵送の場合も10月9日(金)17時までには必着とします。

- ③ 提出先：信州大学大学院総合理工学研究科【農学専攻】入試事務室

(3) 入学資格審査の結果通知

申請された方には平成27年10月23日(金)までに郵送します。

4. 出願手続

出願にあたっては、あらかじめ指導を希望する教員と研究内容や出願について相談してください。

伊那キャンパスの教員が所属する専攻及び分野については、この募集要項に添付する「研究科案内」を参照してください。なお、生命医工学専攻に所属する教員の指導を希望する方は、本選抜には出願できませんので、注意してください。

(1) 出願期間及び出願方法

平成27年11月2日(月)から11月6日(金)まで(締切日の17時までには必着)

- ① 持参による受付は、8時30分から17時までとし、祝日は受け付けません。

- ② 郵送による場合は、「書留速達郵便」により送付してください。角形2号封筒（24 cm×33.2 cm）を用いて、封筒の表に「大学院社会人特別選抜願書在中」と朱書きしてください。

(2) 出願書類提出先

信州大学大学院総合理工学研究科【農学専攻】入試事務室
〒399-4598 長野県上伊那郡南箕輪村 8304 TEL(0265)77-1310

(3) 出願書類等

入学志願者は、次の書類等を取りそろえ、出願期間内に手続してください。

	出願書類等	摘要
1	入学志願票・受験票、 履歴書	この募集要項に添付する用紙に所要事項を記入してください。 志願票・受験票には出願前3か月以内に撮影した上半身、無帽、正面向き、背景なしの写真（縦4 cm×横3 cm、白黒・カラーは問いません。）を指定欄に貼ってください。
2	成績証明書	出身大学等の学長又は学部長（大学以外は出身学校長）が作成し、厳封したものを提出してください。 ※ 入学資格審査を受けた方は不要です。
3	卒業（見込）証明書 又は 修了（見込）証明書	出身大学等の学長又は学部長（大学以外は出身学校長）が作成したものを提出してください。 ※ 信州大学農学部を卒業した方は不要です。 ※ 入学資格審査を受けた方は不要です。
4	入学検定料納付 確認書（A票）	① 入学検定料 30,000 円をこの募集要項に添付する振込依頼書（C票）を使用して、平成27年10月26日（月）から11月6日（金）までの間に金融機関から「電信扱い」で振り込んでください。振込みには別途振込手数料が必要です。なお、郵便局（ゆうちょ銀行）からの振込みはできません。また、ATM（現金自動預支払機）、携帯電話及びパソコンからの振込みは行わないでください。 ② 振込み後、納付確認書（A票）及び領収書（B票）を受け取り、A票、B票の所定欄に金融機関の収納印があることを確認し、納付確認書（A票）を提出してください。 また、「取扱金融機関収納印」欄に、平成27年11月6日（金）（出願期間最終日）までの収納印があるものに限り有効となりますので、特に出願期間最終日に振込まれる場合は、金融機関の窓口での受付時間を確認のうえ行ってください。 ③ 出願期間最終日に持参により提出する方で、金融機関の窓口業務取扱時間内に振込みができなかった方に限り、現金による納付を受け付けます。
5	業務業績報告書	この募集要項に添付する用紙を用い、在職中の業務業績内容もしくは実務経験の概要をA4用紙1ページ程度で作成したものを提出してください。上記の他に、学術論文、技術報告、特許・実用新案等がある場合には、その業績を表す文書等の写しを提出してください。

6	就学推薦書	地域共生マネージメントプログラムの志願者のみ提出してください。 この募集要項に添付する用紙を用い、勤務先の所属長等が作成したものを提出してください。
7	研究志望概要	この募集要項に添付する用紙を用い、指導を希望する教員と相談の上、大学院における研究志望理由と研究計画を、実務経験との関連も併せて1,000字以内で記述してください。また、指導を希望する教員の確認印を所定欄に押印してもらってください。確認印がない場合は、出願を受理できません。
8	返信用封筒 (受験票送付用)	市販の封筒〔長形3号封筒(12cm×23.5cm)〕に入学志願者の郵便番号、住所(受信場所)、氏名を明記し、82円分の切手を貼ってください。 ※ 持参により手続する方は不要です。
9	その他	(ア) 日本国籍を有しない方は、パスポートの顔写真のページ(国籍が明記されているページを含む。)の写しを提出してください。また、日本国内から出願される方は、併せて最新在留資格・期間の証印添付のページの写しも提出してください。 (イ) 「2. 出願資格」の(2)により出願する方で、学士の学位を授与された方は学士の学位授与証明書(大学評価・学位授与機構が発行したもの)を、学士の学位を授与される見込みの方は、学士の学位授与申請予定証明書(在籍学校長が発行したもの)又は学位授与申請受理証明書(大学評価・学位授与機構が発行したもの)を添付してください。

(4) 出願に際しての注意事項

- ① 出願書類等に不備があるものは、受理しません。
- ② 研究科所定の書式に記入の際は、パソコンを使用しても構いません。
ただし、自筆での記入を指定された欄は、必ず手書きで記入してください。
研究科所定の書式の一部は、信州大学農学部ホームページからもダウンロードできます。
(<http://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/agriculture>)
- ③ 入学志願票の『指導希望教員名』欄は、以下のように記入してください。
指導を希望する教員と出願前に必ず連絡をとり、希望研究分野の適合性等について十分な打ち合わせをしたうえで、指導希望教員名を記入してください。
- ④ 出願手続後の書類の変更は認めません。
- ⑤ 受理した出願書類は、どのような理由があってもお返しできません。
- ⑥ 納入済みの検定料は、出願書類を受理した後はお返しできません。
なお、検定料を誤って二重に振り込んだ場合又は振り込んだが本学に出願しなかった(出願書類等を提出しなかった又は出願が受理されなかった)場合は、本人の請求により納入された検定料(二重に振り込んだ場合は重複して納入された分)の返還が可能です。返還手続については、本学のホームページ(入試情報/大学院入試/入学検定料返還手続)をご覧ください。
(<http://www.shinshu-u.ac.jp/admission/>)
- ⑦ 出願書類に虚偽の記載があった場合は、入学許可を取り消します。
- ⑧ 出願後、「本人受信場所(現住所)」に変更があった場合は、直ちに「(3) 出願書類提出先」に届け出てください。

- ⑨ 官公庁、会社等に在職している方については、在職が就学の支障とならないかどうかを審査のうえ、入学を許可します。
- ⑩ 軍人又は軍属の身分を有しながら出願及び在学することはできません。これらの経歴を有する方は、出願の際にこれらの身分を喪失したことを証明する書類の提出を求め場合があります。

5. 入学者選抜方法及び期日

(1) 選抜方法

出願書類の審査及び口述試験の結果を総合して判定します。

(2) 選抜期日及び時間

期 日	集合時刻	試験科目	時 間
平成 27 年 12 月 5 日 (土)	12 時 45 分	口述試験	13 時 00 分～

※受験の際は、受験票を必ず持参してください。

(3) 口述試験の内容

内 容	研究課題及び計画に関するプレゼンテーションと質疑応答を行います。
試験時間	プレゼンテーション及び研究志望概要に関する質疑応答を約 30 分で行います。プレゼンテーションの時間は 10 分です。
プレゼンテーションの方法	パソコンとプロジェクターを用いてプレゼンテーションを行ってください。プロジェクターは大学で用意します。パソコンは持参してください。
評価基準	研究課題及び計画の内容、専門分野に関する知識、研究に対する意欲、探究心

6. 試験場

信州大学農学部（大学院総合理工学研究科【農学専攻】）

〒399-4598 長野県上伊那郡南箕輪村 8304

交通 ① 中央道高速バス（新宿、名古屋、長野発等）

「中央道伊那インター」、「伊那インター前」下車 徒歩 15 分。

② J R 飯田線伊那市駅下車、伊那バスターミナル（停留所名「伊那営業所」）から西箕輪線乗車(17 分)、「大学入口」下車 徒歩 5 分。

路線バスは本数が少ないので注意してください。

伊那バスホームページ <http://www.ibgr.jp/>

7. 合格者の発表

平成 27 年 12 月 15 日 (火) 10 時

信州大学農学部構内公用掲示板に合格者の受験番号を掲示するとともに、同日付けで本人あてに合否を文書で発送します。

なお、電話や電子メール等による合否の問い合わせには、応じられません。

8. 入学確約書の提出

選抜試験の合格者は、平成27年12月24日（木）までに、「入学確約書」を提出してください。「入学確約書」を提出しない方は、本研究科に入学の意志がないものとして取り扱います。

※ 入学手続に必要な書類については、入学確約書を提出した方に対して平成28年2月上旬に改めて送付します。

9. 入学手続及び納付金

合格者は、入学手続期間内に入学料を納入するとともに総合理工学研究科【農学専攻】入試事務室へ必要な書類を提出してください。

(1) 入学手続期間

平成28年3月8日（火）から3月15日（火）まで（締切日の17時までには必着）

※ 入学手続の受付時間は、8時30分から17時までとし、土曜日、日曜日は受け付けません。

(2) 入学手続場所

信州大学大学院総合理工学研究科【農学専攻】入試事務室

〒399-4598 長野県上伊那郡南箕輪村 8304 TEL(0265)77-1310

(3) 納付金の納入等

① 納付金（入学料・授業料）の額

入学料 282,000 円

授業料 （前・後期）各 267,900 円 [年額 535,800 円]

（注）金額は平成27年4月現在の額です。入学時及び在学中に入学料・授業料が改定された場合には、改定時から新入学料・新授業料が適用されます。納付金の額及び納付の方法については、入学手続書類送付時に通知します。

② 既納の入学料は、どのような理由があってもお返しできません。

③ 入学料・授業料の納入が著しく困難な方には、免除制度、徴収猶予制度及び月割分納制度（授業料のみ）があります。希望される方は、入学手続書類送付時に同封される入学料免除、授業料免除等に関する書類をよく読んで願い出てください。

(4) 入学手続にあたっての注意事項

① 入学手続書類を受領したら、期間内になるべく早く入学手続を行ってください。

② 入学手続締切日までに入学手続を完了しない場合は、本学への入学を辞退したものと取り扱います。

③ 合格者が本学の定める入学資格を満たさなかった場合は、入学できません。

10. 大学院設置基準に定める教育方法の特例による教育について

大学院設置基準では「大学院の課程においては、教育上特別の配慮が必要と認められる場合には、夜間その他特定の時間または時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うことができる。」旨規定されて、社会人の就学に配慮がなされています。

そのため、本専攻の社会人プログラムでは、大学院での履修を希望する社会人に対し大学院設置基準に定める教育方法の特例による教育を実施します。

11. 長期履修制度

総合理工学研究科では、働きながら学ぶ大学院生の修学を助成するために長期履修制度を設けています。本制度は職業を有している等の事情により、標準修業年限（2年）で教育課程を修了できないと考える学生に対し、本人からの申請に基づいて4年間以内の計画的な履修をあらかじめ認めるものです。長期履修を許可された学生は原則として2年間の授業料で履修許可期間の修学が可能となります。

入学手続書類に申請方法等を案内しますので、希望者は申し出てください。

※ 地域共生マネジメントプログラムは、長期履修制度の適用はありません。

12. 障害等のある方の事前相談

この募集要項により本研究科に入学を志願する方で、障害（別表参照）等のために受験上及び修学上の配慮を必要とする方は、出願の前に、下記事項を記載した書面（様式は問いません。）を提出してください。

なお、重度の障害がある方は、できる限り早い時期に相談してください。

※ 書面の様式は問いませんが、本学のホームページ（入試情報／大学院入試／障害等のある方の事前相談）から申込様式をダウンロードいただけます。（<http://www.shinshu-u.ac.jp/admission/>）

（注）日常生活においてごく普通に使用されている補聴器、松葉杖、車椅子等を使用して受験する場合も、試験場設定等において何らかの配慮が必要となる場合がありますので、事前に相談してください。

事前相談は障害等のある志願者に本学の現状をあらかじめ知っていただき、受験及び修学にあたってより良い方法やあり方を実現するためのもので、障害等のある方の受験や修学を制限するものではありません。

（1）提出期限 平成27年10月13日（火）まで

（2）書面に記載する内容

- ① 志願者の氏名、住所、電話番号
- ② 出身学校名
- ③ 志願する専攻及び分野
- ④ 障害等の種類・程度（現に治療中の方は、医師の診断書を添付してください。）
- ⑤ 受験上配慮を希望する事項
- ⑥ 修学上配慮を希望する事項
- ⑦ 出身学校でとられていた修学上の配慮
- ⑧ 日常生活の状況

（3）提出先

信州大学大学院総合理工学研究科【農学専攻】入試事務室

〒399-4598 長野県上伊那郡南箕輪村 8304 TEL(0265)77-1310

（4）提出期限後の不慮の事故等による場合の配慮

提出期限後に不慮の事故等により配慮が必要となった場合は、その際にご相談ください。

<別表>

区分	障害の程度
視覚障害者	両眼の視力がおおむね 0.3 未満のもの又は視力以外の視機能障害が高度のもののうち、拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度のもの
聴覚障害者	両耳の聴力レベルがおおむね60デシベル以上のものうち、補聴器等の使用によっても通常の話し声を解することが不可能又は著しく困難な程度のもの

肢体不自由者	1. 肢体不自由の状態が補装具の使用によっても歩行，筆記等日常生活における基本的な動作が不可能又は困難な程度のもの 2. 肢体不自由の状態が前号に掲げる程度に達しないもののうち，常時の医学的観察指導を必要とする程度のもの
病弱者	1. 慢性の呼吸器疾患，腎臓疾患及び神経疾患，悪性新生物その他の疾患の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度のもの 2. 身体虚弱の状態が継続して生活規制を必要とする程度のもの
その他	上記以外で，受験上及び修学上の配慮を必要とする程度のもの

(参考：学校教育法施行令第22条の3，発達障害者支援法第2条)

13. 大学院総合理工学研究科【農学専攻】(修士課程) 分野別コード表

(出願書類の所定欄に記入)

専攻名	専攻コード	分野名	分野コード
農学専攻	1	先端生命科学分野	1 1
		食品生命科学分野	1 2
		生物資源科学分野	1 3
		環境共生学分野	1 4
		地域共生マネジメントプログラム	1 5

14. 修了の認定及び学位の授与

(1) 先端生命科学分野，食品生命科学分野，生物資源科学分野，環境共生学分野

本研究科農学専攻に2年以上在学し，専攻の所定科目を30単位以上修得し，かつ，学位論文の審査及び最終試験に合格した方には，修士(農学)の学位を授与されます。

(2) 地域共生マネジメントプログラム

所定科目から30単位以上を修得し，かつ，特定課題研究成果報告書の審査及び最終試験に合格した方に，修士(農学)の学位が授与されます。

特定課題研究とは，職務に従事した際の実績を踏まえ，その際に見いだされた課題や問題点を解明・考察して新たな論点を加えた研究を指します。就学中に得られた技術開発成果や調査結果を報告書としてまとめていただきます。

15. その他

(1) 学生募集要項の郵送を希望する方は，返信用封筒〔角形2号(24 cm×33.2 cm)，140円分の切手を貼ったもの〕を別の封筒(表に「大学院修士課程社会人特別選抜学生募集要項請求」と朱書きしたもの)に入れて請求してください。

(2) 不明な点がある場合は，総合理工学研究科【農学専攻】入試事務室へお問い合わせください。

総合理工学研究科は、下記の専攻から構成されています。

専攻名	お問い合わせ先
理学専攻	〒390-8621 松本市旭 3-1-1 信州大学理学部内 信州大学大学院総合理工学研究科入試事務室 TEL : 0263-37-2458
工学専攻	〒380-8553 長野市若里 4-17-1 信州大学工学部内 信州大学大学院総合理工学研究科入試事務室 TEL : 026-269-5056
繊維学専攻	〒386-8567 上田市常田 3-15-1 信州大学繊維学部内 信州大学大学院総合理工学研究科入試事務室 TEL : 0268-21-5304
農学専攻	〒399-4598 長野県上伊那郡南箕輪村 8304 信州大学農学部内 信州大学大学院総合理工学研究科入試事務室 TEL : 0265-77-1310
生命医工学専攻	〒390-8621 松本市旭 3-1-1 信州大学学務部学務課内 信州大学大学院総合理工学研究科入試事務室 TEL : 0263-37-2863

※ この募集要項は、農学専攻について記載しています。

他の専攻については、表中の「お問い合わせ先」にお問い合わせください。

《個人情報利用について》

信州大学における入学者選抜を通して取得した個人情報については、入学者選抜のほか次の目的のために利用します。

- (1) 入学手続
- (2) 学籍管理
- (3) 学習指導
- (4) 学生支援関係業務
- (5) 入学者選抜方法及び大学教育改善のための調査・研究

なお、調査・研究及び結果の発表に際しては、個人が特定できないように処理します。

